

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

特定非営利活動法人 VERSTA/整理番号：2019-イ-C30

「ブラジル大西洋沿岸林におけるジュサラ椰子 (Euterpe edulis) アグロフォレストリー普及支援による再生・保全活動」総括報告書

<p>上位目標</p>	<p>ブラジル国サンパウロ州大西洋沿岸林の残存保護林地帯が再生・保全される。</p>	<p>達成度</p>	<p>ジュサラ椰子 AF モデル圃場面積は、活動3年目の2019年度13haに達し、「ひろがる助成」開始時の4ha対比325%の増加となった。このモデル圃場13haは、残存するサンパウロ州大西洋沿岸林1,791,600ha(注1)の0.0007%に相当する。 (注1) サンパウロ州大西洋沿岸林面積は小檜山 雅人博士「ブラジル、マタ・アトランチカの保全状況」による。</p>		
<p>支援活動</p>	<p>活動内容</p>		<p>活動成果</p>	<p>今後の課題</p>	
<p>【活動1】 ジュサラ椰子 AF プロジェクト会議及び技術交流会の実施</p>    	<p>2017年</p>	<p>□プロジェクト会議は、2017年9月13日(水)セテバラス市ハッポーザ村植民地五部会館にて開催し、参加者は39名(目標比130%)であった。 □技術交流会は、2017年9月14日(木)及び2018年2月28日(水)AFモデル圃場にて実施し、参加者は52名(目標比260%)であった。</p>	<p>□プロジェクト会議には、ジュサラ椰子 AF モデル栽培を希望する農家のほか、農協、市役所、大学、農業指導者、州農業指導機関、州森林警察、政治家等の参加まで拡大し、ジュサラ椰子 AF によるジュサラ椰子違法伐採に依存しない持続可能な農家経営への関心の高まりが見られた。</p>	<p>□今後、ジュサラ椰子果実の栄養成分研究結果や有用加工方法の共有化等ジュサラ椰子果実の付加価値向上に資するステークホルダーの参加を促し、当プロジェクト参加農家の農業経営の自立化を促進することが課題と考えられる。</p>	
<p>2018年</p>	<p>□プロジェクト会議は、2018年8月29日(水)セテバラス市ハッポーザ村植民地五部会館にて開催し、参加者は43名(目標比107%)であった。 □技術交流会は、2018年8月29日(水)、8月30日(木)及び2019年1月25日(金)AFモデル圃場にて実施し、参加者は68名(目標比226%)であった。</p>				
<p>2019年</p>	<p>□プロジェクト会議は、2019年8月29日(木)セテバラス市ハッポーザ村植民地五部会館にて開催し、参加者は65名(目標比130%)であった。 □技術交流会は、2019年8月28日(水)、8月29日(木)及び2020年2月12日(水)AFモデル圃場にて実施し、参加者は100名(目標比250%)であった。</p>				
<p>記録写真</p>	<p>【Fig1：ジュサラ椰子 AF プロジェクト会議】</p> 	<p>【Fig2：ジュサラ椰子 AF 技術交流会①】</p> 	<p>【Fig3：ジュサラ椰子 AF 技術交流会②】</p> 		

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

<p>【活動2】 ジュサラ椰子 AFモデル圃場 の拡大設置とフ ォローアップ指 導の実施</p>    	<p>2017年</p> <p>□支援地セテバラス市リオブレット村及びハッポーザ村におけるジュサラ椰子 AF モデル圃場面積は 6ha (目標比 100%) に拡大した。</p> <p>□支援地モデル圃場におけるフォローアップ指導は各圃場 6 回実施し、参加者は 1 市 2 農村延べ 51 名 (目標比 340%) であった。</p>	<p>□ジュサラ椰子 AF モデル圃場参加農家は、3 年間で 4 市 5 カ所 15 農家まで拡大した。特に、2019 年度から参加したタピライ市 Fazenda São João は大農場であり、ジュサラ椰子による二次林の拡大が期待できる。</p> <p>□フォローアップ指導は、定期的に指導者が農家と技術交流することにより、農家の栽培技術向上とモチベーション向上に成果が見られた。</p>	<p>□ジュサラ椰子 AF モデル圃場面積は 2019 年度 13ha に達したが、残存する大西洋沿岸林面積の 0.0007% 程度であり、森林再生による地球温暖化対策として、ジュサラ椰子 AF モデル圃場の拡大支援の継続が課題と考えられる。</p> <p>□今後、ジュサラ椰子 AF 参加農家の拡大に伴いフォローアップ指導体制の強化と指導内容の質向上が課題と考えられる。</p>
	<p>2018年</p> <p>□支援地セテバラス市リオブレット村及びハッポーザ村、レジストロ市及びパリケラアス市の 4 ヶ所におけるモデル圃場面積は 8ha (目標比 100%) に達した。</p> <p>□支援地モデル圃場におけるフォローアップ指導を各圃場 6 回実施し、参加者は 3 市 4 か所延べ 37 名 (目標比 205%) であった。</p>		
	<p>2019年</p> <p>□支援地セテバラス市リオブレット村及びハッポーザ村、レジストロ市、パリケラアス市及びタピライ市の 5 ヶ所におけるモデル圃場面積は 13ha (目標比 130%) に達した。</p> <p>□支援地モデル圃場フォローアップ指導を 6 回実施し、参加者は 4 市 5 カ所延べ 40 名 (目標比 190%) であった。</p>		
	<p>記録写真</p>		
	<p>【Fig4 : AF モデル圃場の拡大設置①】</p> 	<p>【Fig5 : AF モデル圃場の拡大設置②】</p> 	<p>【Fig6 : AF モデル圃場フォローアップ指導】</p> 
<p>【活動3】 ジュサラ椰子 AF 学習会及び AF 啓発セミナー 等の実施</p>	<p>2017年</p> <p>□サンパウロ州環境局森林院主催フルーツセミナーは、2017 年 10 月 25 日 (水) レジストロ日伯文協会館にて開催され、参加者は約 200 名、アンケート調査票回収は 0 票 (運営責任者急病のため) であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 学習会フィールドワークは、2018 年年 2 月 9 日 (金) ジュサラ椰子 AF モデル圃場にて、学内学習会は、2018 年 3 月 23 日 (金) セテバラス市コルデイロ・デ・ファリアス將軍市</p>	<p>□当 NPO は同左フルーツセミナーに出展者として参加し、モデル圃場農家がジュサラ椰子果実ジュースや菓子の提供等ジュサラ椰子果実利用プロ</p>	<p>□各セミナーでは、アンケート票の盗難やプロジェクト運営責任者の急病等により、アンケートによ</p>

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

<div data-bbox="152 209 271 341"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div data-bbox="152 376 271 509"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div data-bbox="152 544 271 676"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> </div> <div data-bbox="152 711 271 844"> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> </div>	<p>立学校にて実施し、参加生徒は延 92 名、アンケート調査票回収は 18 票（アンケート実施後調査票盗難）であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーは、2018 年 2 月 28 日（水）ハッピーザ村日伯文化協会第 5 部会館にて実施し、参加者は 65 名、アンケート調査票回収は 15 票（運営責任者急病のため後日メール調査）であった。</p> <p>2018 年</p> <p>□同上フルーツセミナーは、2018 年 11 月 8 日（木）レジストロ日伯文化協会にて開催され、参加者は 250 名であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 学習会フィールドワークは、2019 年 2 月 22 日（金）ジュサラ椰子 AF モデル圃場にて、学内学習会は、2019 年 2 月 28 日（木）同上市立学校にて実施し、参加生徒は延べ 60 名であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーは、2019 年 1 月 25 日（金）ハッピーザ 5 部集会所で実施し、参加者は 39 名であった。アンケート調査票回収は AF 学習会と併せて 69 枚（目標比 58%）であった。</p> <p>2019 年</p> <p>□同上フルーツセミナーは、2019 年 10 月 23 日（水）レジストロ日伯文化協会で開催され、参加者は 215 名であった。アンケート調査票回収は 104 枚（目標比 87%）であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 学習会フィールドワークは、2019 年 11 月 14 日（木）ジュサラ椰子モデル圃場にて、教室内学習会は、2019 年 11 月 22 日（金）同上市立学校にて実施し、参加生徒は延べ 50 名であった。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーは、2020 年 2 月 12 日（水）ハッピーザ 5 部集会所で実施し、参加者は 55 名であった。アンケート調査票回収は AF 学習会と併せて 80 枚（目標比 80%）であった。</p>	<p>モーションを行った。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 学習会は、同左市立学校と提携し、ジュサラ椰子違法伐採に同行していると思われる生徒を対象に、フィールドワークと学内学習会を実施し、生徒からジュサラ椰子 AF の有効性を理解しジュサラ椰子違法伐採には行かないという意見が寄せられる等の成果が見られた。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF 啓発セミナーでは、モデル圃場栽培技術の共有化を行い、新規モデル圃場希望農家の参加が増える等の成果が見られた。</p>	<p>るアウトプット確認が出来ないことが度々発生したため、プロジェクト運営体制のリスクマネジメントの強化が課題と考えられる。</p> <p>□各セミナーのアンケート票回収がアウトプット目標を下回ることが多かったため、アンケートの印刷及び実施は各セミナー会場運営者に依頼する等運営体制の改善が課題と考えられる。</p>
<p>活動記録</p>	<p>【Fig7：ジュサラ椰子 AF 学習会①】</p>	<p>【Fig8：ジュサラ椰子 AF 学習会②】</p>	<p>【Fig9：ジュサラ椰子 AF 啓発セミナー】</p>

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

<p>【活動4】 エコツーリズムの導入支援の実施</p>   	<p>2017年</p> <p>□エコツーリズム資源調査は、2017年9月11日（水）から9月18日（月）の間、サンパウロ州内にて実施した。</p> <p>□ジュサラ椰子 AF カウンターパート自治体訪問調査は、2017年9月11日（月）レジストロ市長訪問、2017年9月13日（水）セテバラス市長訪問を実施した。</p>	<p>□エコツーリズム資源調査では、サンパウロ州政府森林院森林博物館、DIABO 鍾乳洞、宮坂国人財団森林公園（イミグランテス・エコロジコ公園）、コーヒー資料館・ペレサッカー博物館（サントス）、Japan House 等がエコツーリズム資源として有望である事を確認した。</p> <p>□レジストロ市のエコツーリズム現状調査により、①エコツーリズム計画の作成では、エコツーリズム観光ルートの作成、観光メニューの検討、計画実現のための条件整備等多角的な検討が必要であること、②エコツーリズム計画では、より公正な社会を求め、環境的に優しい、社会に優しい、経済的な公平、より良い生活の質を求めるもの等理念を明確にすること。③エコツーリズムでは、カウンターパート編成を明確にし、地域の持続的発展を重視する視点等が成功要因であることを確認した。</p>	<p>□サンパウロ州にはエコツーリズム資源が豊富にあり、また、支援地レジストロ市には日系移民の農業開発に関する歴史的なアグロツーリズム資源があり、市政の取組みとしても推進しているため、サンパウロ州内や日本の大手旅行社と連携したエコツーリズムの実現が課題と考えられる。</p> <p>□エコツーリズム計画づくりにおいては、レジストロ市エコツーリズム現状調査で明らかになった成功要因の取込みが課題と考えられる。</p>
<p>2018年</p>	<p>□パイロット・エコツーリズム現状調査では、2018年8月29日（木）支援地セテバラス市にて、所有する農園でエコツーリズムを実践しているジュサラ椰子 AF モデル圃場農家 Geraldo F. de Aguiar 氏からヒアリングし、エコツーリズム成功要因について意見聴取した。</p> <p>□エコツーリズムヒアリング調査では、2018年9月4日（火）サンパウロ在住旅行ガイド米田利耕氏からエコツーリズム成功要件について意見聴取した。</p>	<p>□レジストロ市のエコツーリズム現状調査により、①エコツーリズム計画の作成では、エコツーリズム観光ルートの作成、観光メニューの検討、計画実現のための条件整備等多角的な検討が必要であること、②エコツーリズム計画では、より公正な社会を求め、環境的に優しい、社会に優しい、経済的な公平、より良い生活の質を求めるもの等理念を明確にすること。③エコツーリズムでは、カウンターパート編成を明確にし、地域の持続的発展を重視する視点等が成功要因であることを確認した。</p>	
<p>2019年</p>	<p>□エコツーリズム現状調査は、2018年8月27日（火）セテバラス市ハッポーザ村植民地五部会館にて、サンパウロ州農業指導員 M.Terashima 氏から、レジストロ市観光審議会事務所にて、レジストロ市観光審議会 R、Shimizu 元会長及びエコツーリズム担当部長 Maurizia Moura 氏から、レジストロ市エコツーリズム実施状況のヒアリング調査を行った。</p> <p>□エコツーリズム資源調査は、2019年8月30日（金）カルロス・ポテーリョ州立公園内森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所にて、エコツーリズム宿泊地として同出張所宿舎（収容20名）を視察調査した。</p>	<p>□エコツーリズム現状調査は、2018年8月27日（火）セテバラス市ハッポーザ村植民地五部会館にて、サンパウロ州農業指導員 M.Terashima 氏から、レジストロ市観光審議会事務所にて、レジストロ市観光審議会 R、Shimizu 元会長及びエコツーリズム担当部長 Maurizia Moura 氏から、レジストロ市エコツーリズム実施状況のヒアリング調査を行った。</p> <p>□エコツーリズム資源調査は、2019年8月30日（金）カルロス・ポテーリョ州立公園内森林院サンミゲル・アルカンジョ出張所にて、エコツーリズム宿泊地として同出張所宿舎（収容20名）を視察調査した。</p>	
<p>記録写真</p>	<p>【Fig10：レジストロ市観光審議会調査】</p> 	<p>【Fig11：SP 州立公園内森林院出張所①】</p> 	<p>【Fig12：SP 州立公園内森林院出張所施設②】</p> 

[ここに入力]

[ここに入力]

[ここに入力]

SDGs 活動による社会課題解決への貢献	SDG4	 質の高い教育をみんなに	VERSTA は、持続可能な開発と自然環境保護の重要性理解への貢献を目指している。その一環として、ジュサラ椰子の違法伐採に父親と同行している中学生を対象に AF 環境学習会を提供し、その結果、受講した中学生は自然環境保護は重要と考え始め、父親と一緒に違法伐採には行きたくないと言い始めた。■【活動3】
	SDG8	 働きがいも経済成長も	VERSTA は、ブラジル国大西洋沿岸林内に居住する小農家向けにジュサラ椰子 AF の導入機会を提供し、違法伐採に依存しない農家収入の改善への貢献を目指している。■【活動1】【活動2】【活動4】
	SDG13	 気候変動に具体的な対策を	VERSTA は、開発等により 93%が伐採されたブラジル国大西洋沿岸林再生・保全支援活動を通じて、気候変動の緩和に関する教育、啓発、人的能力の向上への貢献を目指している。■【活動1】【活動2】【活動3】【活動4】
	SDG15	 陸の豊かさも守ろう	VERSTA は、ブラジル国大西洋沿岸林再生・保全支援活動を通じて、毎年およそ 26 億トンの CO2 を吸収する地球上の森林再生・保全により、地球温暖化防止への貢献を目指している。■【活動1】【活動2】【活動3】
	SDG17	 パートナシップで目標を達成しよう	VERSTA は、ブラジル国環境局森林院、サンパウロ州セテバラス市・レジストロ市、サン・カルロス連邦大学、サンパウロ連邦大学、TV-Band 等とのパートナーシップにより、【活動1】～【活動4】による目標達成を目指している。